

たけら

TAKUSUI
No. 703

5
May.2015

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



MARTIS (マーチス) のレーダー (淡路市)

浮力合羽で助かった! 系統・漁協 新人職員紹介

《今月の海上安全標語》～ 気を引き締めて... ～

毎年、繰り返される海難事故。その原因は様々で、危険はいつもすぐそばにあります。海で生計をたてる漁業者だからこそ、その怖さは肝に銘じておかなければならないのではないのでしょうか。

漁業者は 海の怖さを 忘れない では、今月も安全操業で!

雑感

兵庫県信用漁業協同組合連合会 監事 宮崎 二郎



(その一) おまけの人生

いか)。

血圧の薬を飲むようになったきっかけは、さる懇談の場で某信漁連の某監事さんから、血圧が170/180もあれば、早く医者へ行つて診てもらわうべきであると忠告を受けてからである。(深謝...) それ以来、定期的に医者で薬をもらっている。

哺乳動物の心拍数は一生で20億回程度といわれているが、象のような大型動物であれば、一定時間当たりの心拍数は少なく寿命が長い。ネズミのような小型動物であれば、心拍数が多く寿命が短いそうである。

私がこの世に生を受けて60有余年になるが、心拍数は計算上、既に20億回を超えたことになるが、未だ人生の終焉は迎えていない。今、生きているのは、おまけのようなものである。

私が生きているのはおまけの人生なのか。おまけであれば、これから何をしようかよく考えてみようかな。

昨日、本屋で「独学勉強法」たる図書を購入してきた。

(その二) 地球温暖化

昨年の夏は異常気象の連続であった。

各地での豪雨災害や猛暑日がなかったり...

また、デング熱が70年ぶりに代々木から全国へ。

高校軟式野球大会準決勝が、50回で決着した熱き戦い。(明石球場で延べ4日間)

地球温暖化は、異常気象、海面上昇、食糧危機、水不足をもたらす。

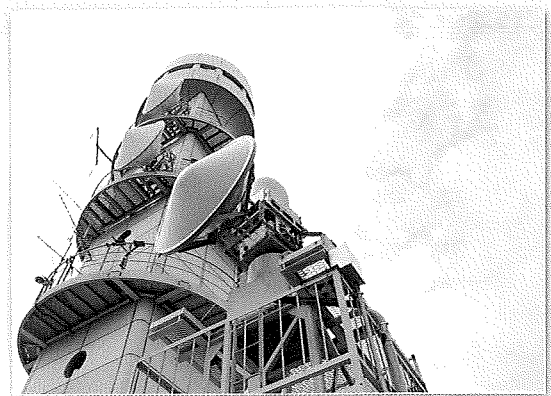
ツバルの行方は? 常に危機意識を!

今年の夏はどうなるのか?

CONTENTS

No.703 May. 2015

- 2 ようこそ
- 3 井上 仁氏が旭日小綬章を受章
平成27年度 県功労者表彰
- 4 平成26年度 のり共販終了
北海道女性部連絡協議会と兵庫県女性連 森会長との意見交換会を開催
- 5 浮力合羽で助かった~JF育波浦で2件の事例~
- 6 香美町の「魚(とと) 条例」一周年 記念フェスティバルを開催
「農とくらし研究活動コンクール」
浜坂漁協女性部が最優秀賞を受賞
- 7 「第17回 浜坂みなと ほたるいか祭り」開催
- 8 系統・漁協 新人職員紹介
- 10 映画「種まく旅人 くにうみの郷」
- 11 淡路島の生サワラ丼
- 12 “命を守る運動”海上安全講習会担当者会議を開催
海難事故をなくそう
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「MARTIS(マーチス) のレーダー」(淡路市)

海上交通センターは海上交通安全法等で定められた多数の船舶が通航する航路・海域で、航路管制など海上交通に関する業務を行う海上保安庁交通部の機関。MARINE TRAFFIC INFORMATION SERVICEからMARTISと呼ばれ、全国に7箇所のセンターがあります。

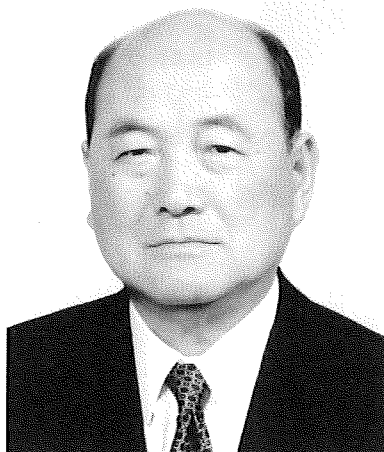
大阪湾と瀬戸内海を見渡すことが出来る淡路市の山頂に「大阪湾海上交通センター」はあり、レーダー、テレビカメラ、VHF無線機、気象観測装置、自動船舶識別装置(AIS)を装備し、無線などで通航船舶の航行管制と、インターネットやラジオ放送などから情報発信を行っています。

海拔約280mにある同センターのレーダーは今日も海の安全を守っています。

井上仁氏（JF岩見組合長）が

旭日小綬章

を受章されました。



平成27年春の叙勲において、JF岩見組合長 井上仁氏（元たつの市議会議員・ひょうご豊かな海づくり協会理事長）が、長きにわたり、たつの市議会議員として地方自治の発展に尽力された功績により旭日小綬章受章の栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。



平成27年度 県功労者表彰

～水産関係から3名が受賞～

兵庫県は5月3日（日）に「平成26年度県功労者表彰」の受賞者の発表を行い、水産関係から3名の方が選ばれました。なお、授賞式は5月18日（月）に神戸市中央区の県公館で行われます。

心よりお慶び申し上げます。

受賞されました方は次の通りです。

【農林水産功労】

田沼 政男 様

（JF林崎代表理事組合長）



【農林水産功労】

東根 壽 様

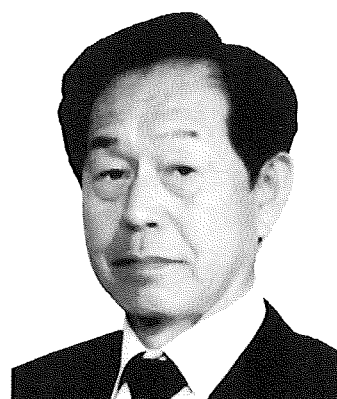
（JF淡路岩屋代表理事組合長）



【農林水産功労】

森 義政 様

（JF森代表理事組合長）



平成26年度のり共販終了

JF兵庫漁連のり海藻事業本部

今漁期最終の共販となる第13回乾のり入札会が、5月8日(金)、JF兵庫漁連のり流通センター(加古郡播磨町)において行われ、全国から約110名(46社)の出席がありました。
 上場枚数は6,768万枚で、共販金額は5億3,816万円(平均単価:7円92銭)となり、今漁期の兵庫県でのり共販結果は生産枚数16億2,274万枚(前年比124%)、共販金額148億2,394万円(前年比136%)となりました。(今漁期の結果は別表のとおりです。)

最終共販の挨拶に立ったJF兵庫漁連 山田 隆義会長は「当初心配されたが、定期的な降雨もあって最終共販まで生産が続けることが出来た。豊かな海を取り戻す運動として行ってきた改正法案は5月中旬に提出される予定である。今後も皆様に良いノリを提供できるよう努力していきたい」とされました。

続いて、兵庫県海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長(松谷海苔(株)代表取締役社長)は「兵庫のノリ生産者としては良い結果となり一息つけると思うが、商社側は全国的に生産量が減少するなか、厳しく難しい年であった。ただ、生販一体の業界であるので、厳しくとも良いノリを消費者へ一枚でも多く届けるよう努力していきたい」とされました。

今期は、漁期当初の風波や水温低下の鈍化による網の張り込みの遅れの影響があり、生産枚数が伸び悩みましたが、年明け後から回復し、その後は順調な生産が行われました。漁期中盤以降は、色落ちの影響が開始されたところで、定期的な降雨より持ち直したことで、強含み相場にも助けられ、最後まで生産意欲も継続し、予定していた合計14回の共販(臨時共販を含め15回)が行うことが出来ました。

今年度は最終共販まで多くの商社の方で賑わいました



平成26年度 兵庫県乾のり共販結果

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
本 県	平成26年	16億2,274万枚	148億2,394万円	9円12銭
	平成25年	13億2,664万枚	110億2,843万円	8円30銭
	平成24年	11億7,804万枚	90億9,110万円	7円70銭
全 国	平成26年	80億6,838万枚	847億2,599万円	10円50銭
	平成25年	70億5,647万枚	648億2,900万円	9円19銭
	平成24年	81億8,758万枚	702億0,913万円	8円57銭

(全国のH26年度共販枚数・金額は5月12日の宮城県共販を除く)

北海道女性部連絡協議会と兵庫県女性連 森会長との意見交換会を開催

兵庫県漁協女性部連合会

4月21日(火)、北海道漁協女性部連絡協議会(平賀 由喜子会長・以下北海道女性連)の役員8名と兵庫県漁協女性部連合会 森 武美会長(JF 福良・全国漁協女性部連合会長)との意見交換会が水産会館で開催されました。
 当日は午後から晴れて、水産会館4階テラスからは明石海峡大橋を臨む景色が一望することができ、留萌や北見などから参加された北海道女性連の皆さんには、開会を前に、明石海峡の景色を堪能してもらいました。同会は、JF兵庫信漁連 山田 峰人会長、森会長の歓迎の挨拶で始まり、続いて同信漁連 黒田 俊文参事より兵庫の水産状況について説明がありました。
 意見交換では、北海道女性連から、本県におけるホテルイカやズワイガニの水揚げが全国1位であることについて「知らなかった。もっと宣伝すればいい」との意見があったほか、女性部活動において、北海道は兵庫県と同じく魚食普及活動や植樹を行っています。北海道は年間100万本もの若い木を植えているという活動の熱心さを感じました。また、北海道女性連はJF北海道信漁連とのつながりを大切にしており、毎年10月17日は「全道みな貯金運動」と定めて活動を行っています。これは、いざという時に備えであるとともに、「信漁連II系統団体」に協力するという姿勢であると語られました。
 交わされた意見において、二宮尊徳の教えも交えて女性部として出来ることを一生懸命やる熱意が感じられ、有意義な意見交換会となりました。



浮力合羽で助かった！ ～JF育波浦で2件の事例～

(一財)兵庫県水産振興基金

JF兵庫漁連(山田隆義会長)が開発し販売を手掛ける浮力合羽。

先日、浮力合羽を着用していたお蔭で助かったという情報を得て、早速、現場へ向向き、直接ご本人から話を聞いて来ましたので紹介します。事例は2件で、ともにJF育波浦(小溝政二組合長)の方です。育波浦漁港や同JF会議室において、お二人が取材にに応じてくださいました。

はじめに海中転落の事例です。清水銀二さん(19歳)は、イカナゴ漁に出漁した3月中旬、育波浦漁港沖でのことでした。



浮力合羽を着用している清水さん

この日は晴れて、波も風なく穏やかな海だったそうです。乗っていたのは運搬船で、投網する際に足が引っ掛かり、危険な状態となったため飛び込むように海へ投げ出されました。落水後は船のすぐ後ろに浮いていたため直ちに救助されたとのこと。この時の状況について清水さんは「浮力は強く、腰から上が浮いていた。」とし、安心感があったと話されました。浮力合羽については「膨らんだ浮力体が邪魔になって使いにいと感も感じることもあるが、いざというときに大変助かるもの」と話されました。

次は怪我の防止事例です。町田正一氏(31才)が危険な目に遭われたのも、イカナゴ漁に従事する3月中旬ごろのことでした。鹿の瀬付近を操業しており、天気はよく晴れ、波・風は無かったそうです。揚網作業にあたっていた際、網についているプラスチック製の浮玉が船に引っ掛かり、それが外れた瞬間、町田さんをめがけて飛んできて胸部を直撃したとのこと。その衝撃は凄まじく、当たった時は息が出来なかつたそうですが、運よく、ちょうど合羽胸部の浮力体に当たったため、すぐに回復し操業を続けられました。このような場合、肋骨を骨折することも多いとのこと。痛い思いはされましたが「合羽のお蔭で本当に助かった」と話されました。



最後に、清水さんと町田さんにおかれましては、イカナゴ漁を終えられた直後でお疲れのところにも関わらず快く取材に応じて頂きましたこと、また取材へのご配慮、ご協力を頂きましたJF育波浦 西浜 伸明 事務局長はじめ関係者の皆様にこの紙面を借りまして御礼申し上げます。

注) 浮力合羽は単体でも十分な浮力を有していますが、国土交通省による型式承認試験基準に合格したものではありません。一人乗りの漁船で操業する場合、ライフジャケット着用は義務付けられています。必ず着用してください。



ととフエス

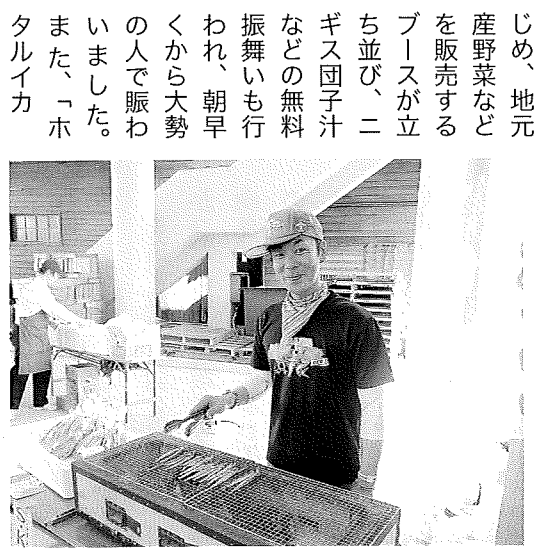
香美町の「魚(とと)条例」は一周年 記念フエステイバルを開催!

(一財)兵庫県水産振興基金

美方郡香美町(浜上 勇人町長)では、水産業を消費拡大と地域経済の活性化を目的に、全国で初めてとなる「魚食の普及の推進に関する条例」(通称:香美町「とと条例」)が昨年4月に制定されました。そこで条例制定1周年を記念し、4月18日(土)に「ととフエステイバル」を開催しました。会場となった香住水産加工業協同組合上屋にはハタタ・カニ・ホタルイカを使った加工品をはじめ、地元産野菜などを販売するブースが立ち並び、ニギス団子汁などの無料振舞いも行われ、朝早くから大勢の人で賑わいました。また、「ホタルイカ

つ香美ましよう」として、参加者が2009・3009・5009のクジを引き、決まった重さにどれだけ近づけるかを競うイベントも行われました。ピタリ賞(±5g)となった方にはギネスブックならぬ「魚ネスブック香美技認定書」が送られ、会場は大いに盛り上がりました。

ととにちなんだ10+10で毎月20日を「魚の日」とし、同町の漁業者、水産加工業者らがボランティアで取り組む「とと活隊」が料理教室など魚食普及に関わる様々な活動を行っており、今後の展開に注目が集まっています。



干しニギスを使ったS・K・Sも好評でした



県但馬水産事務所 高木所長も挑戦!

「農とくらし研究活動コンクール」において 浜坂漁協女性部が最優秀賞を受賞しました

農とくらし研究活動コンクールは、県内で農とくらしにおいて先導的な活動を実践している農漁業者が集まり、日ごろの研究成果を相互に交換することで元気な農山漁村づくりを進めることを目的に昭和47年度から開催しているものです。今年度は2月12日(木)に神戸市内で行われ、農林水産加工の部表彰において浜坂漁協女性部(久瀬よし子部長)の「ほたるいかつくだ煮」が最優秀賞となる兵庫県知事賞を受賞しました。

このつくだ煮は、同JFが水揚げ量日本一を誇るホタルイカを知ってもらおうと同女性部が企画・考案したものです。水揚げ当日に湯がき、目玉を取り除くなど手間ひまを掛けて作られたもので、当初は冷凍商品であったものを常温保存が可能ないように加工され、鮮度感と触感にこだわった「目玉の無い目玉商品」です。



「第17回 浜坂みなと ほたるいか祭り」開催

～約1万6千人の来場で賑わう～

JF浜坂



軍艦巻き

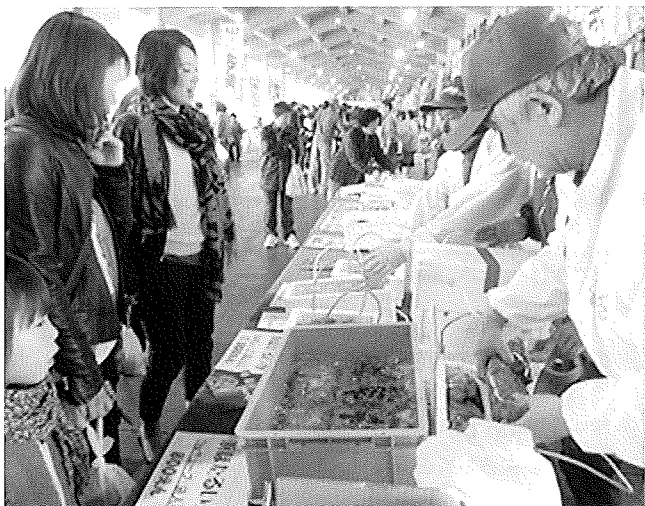
JF浜坂（川越一男組合長）では、全国有数の水揚げ量を誇るホタルイカを多くの人に知ってもらおうと、毎年、「ほたるいか祭り」を開催しています。今年も4月5日（日）、「第17回浜坂みなと ほたるいか祭り」に開催し、曇り空でやや肌寒い日となりましたが、朝早くから旬のホタルイカを楽しもうと会場の浜坂漁港には大勢の来場者が詰めかけて賑わいました。（主催者発表約1万6千人）

イベントでは、ホタルイカの串揚げやお好み焼き、しゃぶしゃぶのほか、軍艦巻きやかき揚げうどん、船上で漬け込んだ沖漬け等も提供され、各売り場には長い行列が出来ました。メインステージでは、昨年に引き続き、茹でたホタルイカを時間内に食べた量を競う「全日本わん

こほたる選手権」が行われ、沢山のほたるいかを頬張る表情に笑いが起きるなど会場は盛り上がりました。

また、クレーンに吊られた大きな籠にホタルイカを入れて大釜で茹でる、「クレーンで吊るほたるいかの釜揚げコーナー」には、鮮度が良く茹でたてのイカが食べられるとあって、たくさんの方が集まったほか、獲れたてをすぐに船上でパック詰めをした商品「浜ほたる」も人気で、会場はホタルイカを買い求める来場者で賑わいました。

JF浜坂では、今後も多くの人にホタルイカの美味しさを知っていただけたらと思っています。



浜ほたるは今年も人気でした！



クレーンで吊る釜揚げほたるいか

J F 兵庫信漁連

営業部融資課

やなぎはら ふみ か
柳原 史香

仕事について右も左も分かりませんでした。先輩方に教わりながら、日々業務に取り組んでいます。最初、「0の数、おかしいんじゃないの!？」と思っていました。段々と慣れてきました。慣れてきたからと気を抜かず、一日でも早く戦力になれるよう一生懸命頑張ります。



**系統・漁協
新人職員紹介**

新たに採用された職員の皆さんを
ご紹介します

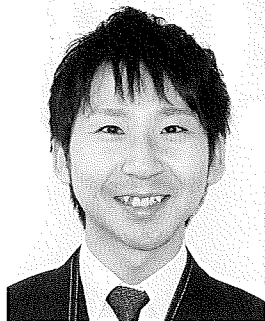
共水連兵庫県事務所

企画推進課

はしり で ゆう き
走出 有紀

1日でも早く業務に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張ります!

どうぞ宜しくお願い致します!

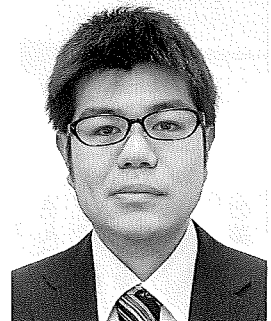


J F 兵庫信漁連

総務部総務課

くぼ ゆう へい
久保 有平

4月からJF兵庫信漁連本店で働いています。新人として「明るく 楽しく」をモットーに一日でも早く仕事が覚えられるように頑張ります。これからよろしくお祈りします。



兵庫県内海漁船保険組合

損害審査課

あお き み な
青木 美奈

家庭では3姉妹の育児に奮闘する恐い母親ですが、職場では「笑顔」を絶やさず、仕事が円滑に進むように頑張りますので、よろしくお祈りいたします。



J F 兵庫信漁連

営業部業務課

なか はた めぐみ
仲畑 恵

まだまだ至らない点も多いですが、早く一人前になれるように努めたいと思います。そのためには、まず、日々の業務を覚え、様々なことをこなせるようになります。そして、ただ指示を待つだけでなく、何事も自分で考えながら行動するなど、常に向上心を持って取り組んでいきたいと思っています。



兵庫県内海漁船保険組合

保険引受課

あま の
天野 あゆみ

地域とのつながりを感じながら働きたいと思っていたところ、ご縁あって12月から漁船保険組合の一員に加わりました。新潟県の海沿いの街で育ったので、海で働く方々のお役に立てることが嬉しいです!こつこつと着実に成長していけるよう頑張りますので、よろしくお祈りいたします。

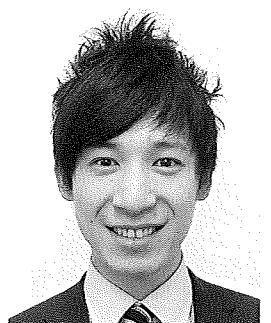


J F 兵庫信漁連

営業部業務課

なか むら じょう じ
中村 丈二

兵庫県の浜を活気あるものにし、漁業を盛り上げていく為の手伝いを出来る様、精一杯務めていきたいと思っています。よろしくお祈りします。



JF但馬

津居山支所 庶務課

かわぐち ちあき
川口 千晶

子どもの頃から海を身近に思っていた分、この仕事に携わることが出来まして大変嬉しく思っております。覚えることも沢山あり、日々努力と感じております。但馬漁協の皆様にも早く覚えて頂けるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

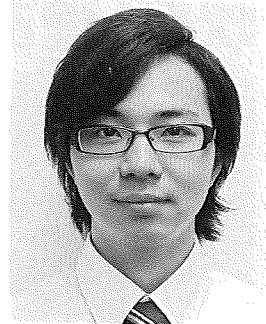


兵庫県内海漁船保険組合

損害審査部

や した たか あき
八畑 孝哲

工場勤務から一転、漁船保険の審査マンになる道を選びました。畑ちがいの仕事で不慣れな部分もありますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



JF但馬

津居山支所 テック課

にしむら みつ たか
西村 光高

4月からJF但馬津居山支所テック課に勤務しております。覚えることばかりなので毎日大変ですが、新たな技術を学ぶ楽しさを日々感じながら、仕事に取り組んでいます。組合員さんのために精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

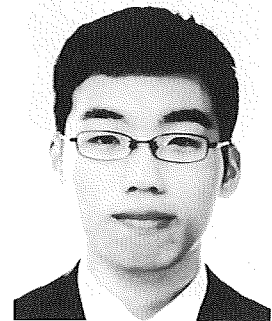


JF坊勢

総務部 (姫路とれとれ市場勤務)

おかだ ひゅうが
岡田 日向

まだ分からないことが多いですが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



JF但馬

香住支所 製氷冷蔵課

ふじ なら こう だい
藤原 広大

“Keep My Pace”、マイペースで頑張っていきたいです。

私は人と話すことが好きなので、それを生かしてコミュニケーションの力を高めていきたいと思ひます。

高校では「どんなことでも楽しむ」ということを私は学びましたので、苦しいことがあっても楽しむことを忘れずに取り組んでいこうと思ひます。

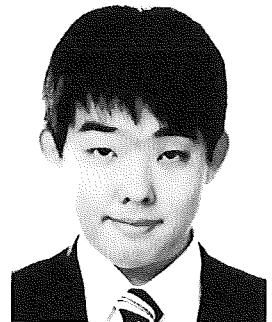


JF坊勢

総務部 (姫路とれとれ市場勤務)

たい きょうすけ
田井 京介

仕事を始めて、そろそろ1ヶ月になりますが、まだまだ覚えることが多く、他の人に迷惑を掛けたりしていますが、これからも一生懸命頑張っていきたいと思ひます。



JF但馬

香住支所 販売課

かど わき はるか
門脇 玄

仕事に慣れない分、周りの方々に迷惑を掛けているので、1日でも早くなれるように頑張っていきたいです。頭で覚えるより実際にやって体で覚えるタイプなので、何事にも率先して実行したいと思ひます。



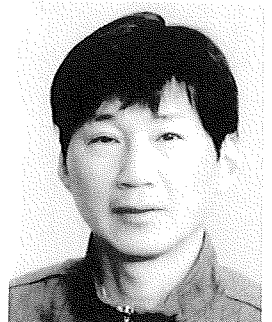
JF五色町

販売担当

たむら まさ ゆき
田村 優行

パートを経て、この4月から職員としてお世話になっています。

51歳と遅い入組ですが、これまで得てきた経験も生かして漁師さんが気持ち良く漁に出られるような漁協の環境づくりと、漁師さん・業者さんの双方の立場に立った考えで、新鮮な魚を1円でも高く買ってもらえるよう努力していきたいと思ひます。各漁業関係の皆様、お会いする機会がありましたらよろしくお願ひいたします。



映画「種まく旅人 くにうみの郷」

～神戸市内で
試写会を開催～



淡路島を舞台に、漁業者と農業者が共同しておこなう「かいぼり」やノリ養殖が紹介される映画「種まく旅人 くにうみの郷」の特別試写会（JF兵庫漁連・（一財）兵庫県水産振興基金 共催）が、4月24日（金）神戸市内で行われ、会場にはJF・行政関係者をはじめとした約250人の参加者がありました。

JF兵庫漁連 山田 隆義会長は「豊かな海

を取り戻すための改正法案は、近々成立する運びとなるが、これで直ちに海が豊かになる訳でない。今後も漁業者が取組みを続けるなか、漁業や農業の視点でみた海や田畑が見事に描かれるこの映画を撮って頂いた篠原監督に御礼を申し上げますと挨拶がありました。また、来賓の兵庫県 吉本 知之副知事は「淡路を題材にした映画をよく撮って頂きまし



山田会長、吉本副知事から挨拶がありました



た。飽食の時代といわれる現在、食への感謝の念が薄らいでいるのではないかと。再度、農林水産業の大切さを認識する映画として観て頂きたい」とされました。

最後にこの映画を撮られた篠原 哲雄監督は「撮影前、ノリ養殖や海の世界の話は聞くなか、海苔は様々な工程を経る、長い旅をして出来るものだと感じ、これを脚本の中心に据えることにした。全シーンを淡路島で撮影したが、何とか地元の人への敬意も描きたかった。作ったものが食につながっていくという、人の営みの大切さを表現出来たと思う。兵庫県で盛り上がったもらえれば嬉しい」と挨拶をされました。

映画はエンドロールが終わるとともに大きな拍手が起こり、「ノリ養殖やかいぼりがとても分かりやすく良かった」などの感想が多く聞かれ、大好評でした。5月30日（土）の全国一斉ロードショーには皆様も是非映画館へ足を運んで下さい。



「ノリ養殖は“長い旅”」と話す篠原監督



配給：松竹(株) 宣伝：松竹(株)メディア事業部
www.tanemaku.jp

2015年5月30日より 全国ロードショー!!

兵庫県内の上映劇場について

兵庫県内では下記の3か所で上映が行われます。
(県外の劇場は「種まく旅人 くにうみの郷」ホームページ
(www.tanemaku.jp) をご覧ください)

- ① 神戸国際松竹
神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館11階
- ② MOVIXあまがさき
尼崎市潮江1-3-1 あまがさきキューズモール4階
- ③ 洲本オリオン
洲本市本町5-4-8

※ 洲本オリオンは平成25年10月より通常の映画上映は休館
していますが、この映画のみ営業いたします。

©2015「種まく旅人 くにうみの郷」製作委員会



力強い宣誓を行った福島部長

PRイベント後、鳥飼漁港において



様々な生サワラ丼が並びました

路島の生サワラ丼」として情報発信することにより、地域の活性化を図ることを目的とした活動に取り組んでいきます。

今年度の播磨灘でのサワラ流網漁が4月24日(金)にはじまり、翌日には生サワラ丼の販売が再開されることから、24日午後、鳥飼漁港においてPRイベントが開催され、天候に恵まれ、汗ばむ日差しに大漁旗がなびくなか、会場には多くの報道陣、関係者が集まり、洲本市、竹内通弘市長と「淡路島サワラ食文化推進協議会」会長として福島組合長が挨拶をおこなった後、同JF青壮年部 福島 寛之部長が「生サワラ丼を1人でも多くの人に食べてもらえるよう、魚に全力で取り組みます」と高らかに宣誓しました。

会場のテーブルには、生サワラ丼を提供する各店舗の趣向を凝らした丼18品が披露されたほか、大皿に盛られた刺身、炙り、タタキが報道関係者ほか参加者約100名に振舞われ、そこかしこで「旨い」との声が聞かれ、皆が舌鼓を打つなか、あっという間に完食となりました。また、市が導入したキッチンカー「いいとこすもと発信号」のお披露目式やクイン淡路2名を交えたフォトセッションなどでイベントは盛り上がりしました。

生サワラ丼の提供店舗は、昨年度の9店舗から今年度20店舗に拡大し、2万食の販売目標を掲げています。昨年80万食を超える売上げを記録した「淡路島の生しらす丼」と「淡路島牛丼」に続く淡路島第3の名物丼として、地域の活性化とサワラの消費拡大が期待されます。



淡路島の生サワラ丼

淡路島発、サワラのおいしさ情報発信

兵庫県洲本農林水産振興事務所



“命を守る運動” 海上安全講習会 担当者会議を開催

～海難事故“0”を目指して～

後を絶たない海難事故を未然に防止するため、JF・系統団体は、命を守る運動、海上安全講習会を開催しています。

平成22年に始まったこの講習会は、海難事故事例とその対策の解説、ライフジャケット着用推進やそのメンテナンス実習のほか、ライフジャケットを着用して海に飛び込み、その性能を体験する「ザバイバル訓練」、大型フェリーのブリッジから視界や運動性能を体験するなど、多彩な講習を行っています。

5月7日（木）には、水産会館で、国土交通省神戸運輸監理部、神戸・姫路の各海上保安部、JF兵庫漁連をはじめとした系統5団体による担当者会議が開催され、今後の取り組みについて活発な意見が交わされたほか、今後さらに「海難事故“0”（ゼロ）」を目標に、講習会の充実を図っていくことが確認されました。

今年度も県内の各地区のJFへ出向いて、講習を行っていただきます。JFは、是非、下記連絡先までお電話ください。



新しく発売されたライフジャケットも紹介されました

“命を守る運動” 海上安全講習会

主催 漁業協同組合・JF兵庫漁連・共水連兵庫県事務所・兵庫県内海漁船保険組合・(公財)ひょうご豊かな海づくり協会・(一財)兵庫県水産振興基金

協力 神戸運輸監理部 各海区の海上保安部
関西小型船安全協会

講習会の開催希望などのお問い合わせは

JF兵庫漁連(指導部)まで

TEL 078-940-8013

海難事故をなくそう!

ライフジャケットを
着用しよう!

ライフジャケットは金具を調整し、体にあったサイズで着用しましょう。固型式ライフジャケットには、薄くて軽いものもあります。是非、お試し下さい!



固型式ライフジャケット

モデル：摂播地区漁青連 大西 正起会長

～安全をサポート～

浮力合羽はお持ちですか?

JF兵庫漁連が開発したもので、浮力は十分あります。

※国土交通省の型式承認試験基準に合格したものではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。



浮きます!

モデル：JF兵庫
糸谷 安一
代表理事組合長

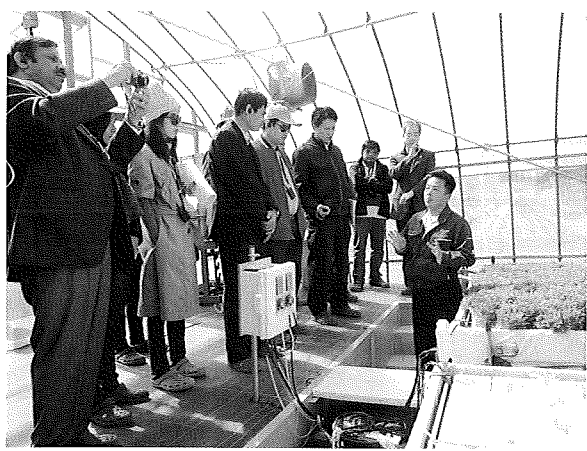
ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連資材部(078-942-9272)までお問い合わせください

アジア諸国の 農協リーダー育成のために ICA研修生を受け入れ

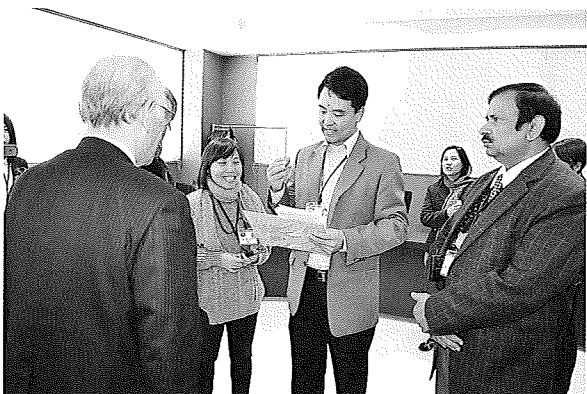
(一財)アジア農協振興機関(IDACA)は、国際協同組合同盟(ICA)アジア・太平洋地域事務局と協力し、アジアの開発途上国における農協や農家グループの活性化を担うリーダーを育成する研修プログラムを実施しました。ブータン、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ネパール、ベトナムの6カ国から10人の研修生が、3月24日から27日まで、兵庫県内のJA等で研修を行いました。

24日は、JA兵庫中央会で本県農業と農協の概要と本県JAグループの役職員教育等について研修しました。参加者からは、役職員研修にかかる費用や政府助成の有無などの質問を受けました。

農業現地研修として、25日はJA淡路日の出管内で野菜及び花きの農家を、また26日はJA兵庫南管内でJA出資法人と6次産業化に取り組む女性グループを視察しました。



JA兵庫南出資法人(株)ふぁーみんサポート東はりまで水耕栽培施設を視察するアジア諸国の研修生



石田正組合長(左)へ感謝の言葉を述べるディン ホン タイ氏

知りたい!健康食品の 上手なつき合い方

～「ひょうご消費者セミナー2014」を開催～

兵庫県生協連では、3月19日(木)、兵庫県民会館にて消費者支援機構関西(KC's)、ひょうご消費者ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催による「ひょうご消費者セミナー2014」を開催しました。このセミナーは、「適格消費者団体」や「消費者団体訴訟制度」について理解を深めるとともに、幅広い世代の消費者に健康食品についての有効性や安全性を考え、あふれる情報にたまされな

いコツを学ぶもので、約170名が参加しました。初めに、NPO法人消費者支援機構関西(KC's)事務局が健康食品事業者への差し止め請求について報告。また、NPO法人ひょうご消費者ネットが事例をもとに適格消費者団体の活動紹介をしました。続いてアド☆コン座による寸劇では、健康食品に関する身近なトラブル事例を楽しく紹介。また、武庫川女子大学生活環境学部 松浦 寿喜 教授が「正しく知ろうよ!健康食品～かしこい消費者になるために～」をテーマに、健康食品との上手なつき合い方について講演。健康食品の選び方や使い方、ジェネリックの現状のほか、「運動」と「休養」を適切に摂ってサプリメントを上手に使うこと、疑問に思ったことはホームページで調べたり地域の消費生活センターや適格消費者団体に相談してほしいことなど、被害に遭わないためのポイントを学びました。

質疑応答も活発に行われ、参加者からは「契約書を盾に、損害賠償や返金に応じない企業に対して、泣き寝入りしなくても良い場合もあるということが分かりました」「ジェネリックや医薬品についての情報もあって良かった」「理解しているつもりでも、情報に流されることも多い毎日。気をつけたいと思いました」「健康食品もいいかもしれませんが、食べ物でしっかり食生活を管理することが大切と感じました」などの感想が寄せられ、充実したセミナーとなりました。



◀会場は笑いに包まれ楽しく学びました



武庫川女子大学 松浦寿喜教授が講演されました



旬に想う

写真と文
遊方子

照る照る坊主

◆国民の祝日の《文化の日》は、毎年必ず晴れる事で有名な「特異日」である。皇居では文化勲章の授章式が行なわれ、彼方此方で文化的な行事が実施される。天皇陛下は日本の象徴となられたが、日本国憲法の第一条は天皇に始まるし、国民の祝日15のうち5つは、天皇制に関連する祝日である。天皇制に反対する人には耐え難いかも知れぬが「建国記念日」と名を改めた紀元節があり、「昭和の日」は昭和天皇、「文化の日」は明治天皇の誕生日で、「勤労感謝の日」には天皇家で儀式「新嘗祭」を行う。勿論、現天皇誕生日も祝日で、それぞれ天皇制を色濃く残したものの。勲章を有り難いという考え方も同様であるだろう。

◆天候に関する「特異日」は、1月3日・5月13日・7月31日・8月1日・10月27日・11月3日は晴れる確率が高く、6月28日・7月5日・10月29日は雨が降り易いという。行事予定をする時は参考になるだろうが、古い日記から天気欄を検索すると、前者は晴天の確率は成程高いが、後者の雨天確率はかなり低かった。筆者の住む明石が基準だから全国的に考えると不明だが…。デジタル放送になり、気象情報が見え、旅先の天候も事前に知る事が出来る。とても便利だが、事前に予報が判っても当てにはならず、あくまで天候は空任せ。当たるとも八卦当たらずとも…という類いに終わるかと思うのである。

◆孫たちを我が菜園のイチゴ狩りに誘って、前々日あたりから空具合に気を探んだ。孫は軒先に照る照る坊主を吊るしたという。大きなのを作ったから晴れるヨといったが、当日は快い青空で楽しい一日になった。それから行事のある都度、大きな照る照る坊主が軒先に揺れているという。昔、農家では虫追いや疫病・早魘などを起こす悪霊を人形に託し《天気祭り》と称して、お祓いをした。照る照る坊主は此れに想を得たようで、江戸時代《てるてる法師》という一種の民間信仰として広まった。布や紙で坊主頭の人形を拵え、晴天を祈って願掛けをして、晴れたら瞳を書き入れ、神酒を供えて川へ流したそうである。

◆真ん丸な坊主頭に作るのも、僧侶や修験者の不思議な呪力を願っての事と思われる。中国の雨乞い祈願用「掃晴娘」という人形がモデルだとも伝えられているが、晴天を願うのに雨乞い人形を吊るすのはヘンな話である。そんな由来がある風習も、最近では余り見られなくなった。科学の進歩した近代だが、空模様だけは貴方任せの神頼みである。最近の台風襲来にも成す術がなく、荒らされ放題に暴れられて、全くお手上げ状態で泣かされる。辛いが悲しい現実だ。

大輪田塾だより

漁船法と栄養塩について

4月の大輪田塾は28日(火)に「漁船法概要」と「播磨灘の水質環境(栄養塩)変化とノリ養殖」の2課題を開講しました。

「漁船法概要」は県水産課漁政班漁業管理担当 高倉 良太氏が講義を行いました。漁船の定義や法律の内容のほか、漁船の計測について模型を使った説明があり、塾生は理解を深めました。

続く「播磨灘の水質環境(栄養塩)変化とノリ養殖」では県立水産技術センター 原田 和弘主席研究員が講義を行いました。播磨灘の栄養塩に着目し、その変化の動向や影響について解説されたほか、豊かな海を取り戻す取り組みについて解説されました。また、一般への海に関するアンケート結果も示され、水産業界が唱える豊かな海との意識の差も紹介され、塾生は興味深く聞き入っていました。



原田主席研究員の講義



高倉氏は大輪田塾初登壇でした

5月の大輪田塾

12日 「漁業法概要」

26日 「三河湾の環境再生と森川海のかながり(仮題)」

(於…水産会館)

(於…水産会館)